



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2018-2019年度 第15週報 No. 2043 2018年(平成30年)10月19日 第2043回 例会記録 10月26日発行

本日(10月26日)のプログラム

移動例会、及び優良職場訪問



すずめ

司 会

田中龍太郎 副幹事

点 鐘

天野 公史 会長

斉 唱

「それでこそロータリー」
ソングリーダー 西山 潔 会員

四つのテスト

加野 亮一 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介

張 容慈 様 (ゲストスピーカー・米山学友)
李 徳雨 様 (米山学友)
藤本 和香 様 (例会見学者)

特別行事

◆入会式



新会員 小池 将夫 様

2018-2019年度 RI会長 バリー・ラシン



インスピレーションになるう

第2590地区 ガバナー 金子 大

会 長	天野 公史	会 計	白井 康夫
会長エレクト	白鳥 厚夫	副 会 計	渡邊 淳
副 会 長	山本 芳弘	S A A	森永 健
副 会 長	月山 勇	副 S A A	友添 辰哉
幹 事	金森 欣一	副 S A A	河野 明光
副 幹 事	田中 龍太郎	クラブ会報	茂木 知子

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

誕生日祝

大久保由美子会員（10月22日）

加野 亮一 会員（10月28日）



結婚記念日祝

月山 勇 会員（10月19日）

天野 公史 会員（10月29日）



幹事報告

金森 欣一 幹事

- ・次週10月26日は移動例会及び優良職場訪問となりますので通常例会はお休みです。なお、メイクアップ受付はキャメロット3Fにてございます。
- ・10月27日（土）10：00～13：30 岸根公園にて花壇の花植えを実施致します。大勢の参加をお待ちしています。

出席報告

角田 伯雄 出席委員長

会員総数	52名	(33+19)名	
出席会員数	38名	(24+14)名	
出席率	80.85%		
ゲスト	3名	ビジター	0名
前回補正後	89.58%	前々回補正後	84.09%

入会記念日祝

吉橋佐千男 会員（10月28日）

田邊 正彦 会員（10月31日）



スマイルボックス

友添 辰哉 副SAA

加野亮一君 誕生日のお祝い、ありがとうございます。53になります。人生これからが楽しいんですね？皆さんを見ていてそう思います！！

月山 勇君 結婚記念日祝い、ありがとうございました。今日で49年、よく我慢を重ねたものです。自分で自分を褒めてやります。

天野公史君 ①結婚記念日祝い、ありがとうございます。②昨日のテーブルミーティング、RLIも勉強になりますがより勉強になりました。

田邊正彦君 本日は私の入会祝いとのこと。よろしく願い致します。

石川正三君 昨日の第3テーブルミーティングにご出席の皆様、ご苦勞様でした。お蔭様で楽しく議論が進められました。なお、当日、事務局が作成してメンバーに配った『例会出席率の計算方法』の資料は、全会員が知っておく必要があるとの意見が出た為、本日、皆さんのボックスに入れてあります。お暇な時に是非ご覧下さい。

会長報告

天野 公史 会長

- ・10月度定例理事会報告
- ・R I 事務局より、私天野にベネファクターの認証状とピンが届いておりますので、月山副会長より贈呈して頂きます。

吉田隆男君 小池先生、お待ちしております。

山本 登君 涼くなりました。

矢野修二君 岸根公園花植えの件、会社行事の為出席出来ず、残念です。

江森国一君 小池さん、入会ありがとうございます。

河野明光君 ①小池先生、入会おめでとうございます。②昨日の第3テーブルミーティングでは、茂木・石川正副マスター、ご苦勞様でした。出席率に関し、参加者が熱く語って有意義なミーティングでした。③張容慈さん、今日の卓話よろしく。

山田正憲君 ①藤本和香様、ようこそいらっしゃいました。②張容慈様、本日の卓話、よろしくお願ひします。③李君、校友会会長頑張ってください。④小池さん、また一緒になれて嬉しいです。

金森欣一君 ①張様、本日の卓話、よろしくお願ひ致します。②昨夜の第3テーブルミーティング、茂木マスター・石川サブマスター、ありがとうございました。大変勉強になりました。

西山 潔君 ①昨日の第3テーブルミーティング、茂木マスター・石川サブマスター、大変楽しい有意義な企画、ありがとうございました。参加の皆様、お疲れ様でした。二次会残金をニコニコへ入れます。②小池先生、入会ありがとうございます。

白鳥厚夫君 ①張容慈様、本日の卓話、楽しみです。②第3テーブルミーティング 茂木テーブルマスター、石川サブマスター、お世話になりました。

小山市康君 昨晚の第3テーブルミーティングでは、茂木マスター・石川サブマスター、大変楽しく討論が出来、ありがとうございました。

友添辰哉君 来週27日、岸根公園花壇の花植え、参加の程よろしくお願ひします。

10月19日	16件	44,100円
本年度累計		683,100円
年度目標進捗状況		▲9%

見つけ直して

米山学友 張 容慈 様
(紹介者 赤堀 和人 会員)



自己紹介

私は2002年～2003年横浜山手ロータリークラブで奨学生として一年間お世話になりました。出身は台湾台北です。卒業後、日本で就職し、今現在は台湾系金型、プレス会社の日本オフィスで勤めています。家族構成ですが、今は主人、そして子供（三歳半）と三人暮らしです。

幼い時、両親のお仕事の関係で、約6年間日本（大阪）で生活をしていました。父は中華のコック、奈良国際ホテルで勤め、その後、父が体調を崩し、家族は日本から離れることになりました。

日本語、日本の文化にはじめて接したのは、1歳半からのことでした。母のセリフは「日本語を忘れたら、一生後悔するよ」と、小学生から日本の学校で使っている教科書で沢山の宿題を出され、そして、日本語の読み書き、聞き取り特訓の日々が続きました。放課後、遊びたい気持ちでいっぱいな私、学校の宿題以外に、日本語の宿題が山ほどある。中国語のアニメ、ドラマをみると、すぐ消されて、「日本語にしろ」とよく叱られました。その時、日本語に対する熱意はあまりなかった記憶があります。

中学生の私が、初めて、日本語を話せる喜びを感じました。そのきっかけは、教会関係の交流で、台湾と日本の青少年交流のイベントでした。そこで初めて、日本語を話せる喜びを感じました。簡単な通訳（関西弁）でしたが、私もできると自信がつかしました。辛いときもあった、でも、今はうれしい気持ちで胸がいっぱいです。本当に良かった。厳しい母がいてくれてよかったと心から感謝をしています。なぜ、そこまで日本にこだわるか、日本を愛し、日本語を大切に強い気持ちを理解するのに、かなりの時間がかかりましたが、今は本当に感謝の言葉だけしかでないです。

今から16年前ですが、日韓ワールドカップの中国語通訳ボランティアに参加しているときに、米山奨学財団と出会いました。月一度の例会が楽しみで、さまざまな方と触れ合う機会ができ、他の財団と違うことを認識しました。他の財団は受かった時点で終点、米山は受かった時点で本当の意味でのスタートだと感じました。そして一生のお付き合いができる場です。

米山活動からもう一度物事を見つめ直す機会に

私は6年前からインターアクトの海外研修に参加することがきっかけで、あらためて台湾について、色々調べ、考え直す機会となりました。

台湾の方は、日本が大好きで、親日で有名です。それはなぜでしょう。それは、今まで受けてきた教育に大きく影響されていると思います。確かに、私が受けた歴史教育では、もちろん事実は記載されています。事実は事実、しかし、ここが重要なところ。教育では、次世代の人、平和のため、戦争はやめよう。戦争時に発生したことは教訓としてしっかり覚え、これから戦争をしないようにしなければいけないことを教えている。

さらに、日本について、日本が台湾で行った道路、鉄路、港湾、上下水道、電気、通信などのインフラ整備、教育の普及、治安の維持などは、台湾の経済発展に大きな発展をもたらしました。これが今の土台となり、台湾の発展に道づいた。

「歴史はあくまでも、すぎたことであり、これからどのように道を歩むかが大事」。私自身、周りの方で、日本が嫌いと言ったことはありません。学校の先生、教科書にも、日本の悪口を書いていません、歴史について事実を述べているだけです。悪口、いや、むしろ、日本は未来を見る目があり、台湾の未来を考えて、大きな道路を建設、教育を普及させた。私は感謝の意味で教育をうけました。

台湾人の情の厚さは、温かさは日常生活でもよく感じられます。台湾の方は本当に席を譲る。人間が温かい。情熱がある。これは日本であまり見られない風景です。台湾の電車にも、優先席、普通席があります。水色普通席、青色は優先席。満員電車でも優先席が空いている場面がしばしばあります。普通の人がある優先席を座ると異様な目線が集中し、座りにくい雰囲気になります。普通席に座っている方が妊婦、子供を見ても席を譲ってくれます。

残念ながら、私は通勤通学で20年以上電車に乗っていますが、あまりこの風景をみる事ができません。決して、日本の悪口を言っているのではなく、お仕事は誰だって大変です。お席を確保したい場合は、ピーク時間は控えましょう。

ルールと罰則の違い

台北市の袋はすべて有料です。ルールと罰則の違いをはっきりしないと、守らないのが台湾人の特徴。

ゴミ収集車が毎日決まった時間に巡回しているので、その決まった時間に捨てに行く。物価感覚だと日本円で一枚50円から150円で、高いです。高いので、袋代にお金をかけたくないのが人間の心理。袋のお金を節約したいと、分別が徹底されます。紙、プラスチック、ペットボトル、瓶缶は無料で捨てられます。市民は一生懸命毎日分別します。

台湾の政府は賢いと思います。本来その袋の料金は安く設定しても良い。あえて、物価に合わせた袋料金を最初から設定せず、最初から高い料金の設定をしたのが正解だった。それが何年も続くと、良い習慣を導くでしょう。

ぜひ、この経験を日本の政府にもお伝えしたいと思います。きっと2020年の時、全国民一致してエコバックを持参するでしょう。

役割の変化

2013年からインターアクトの研修活動に参加する機会を頂きました。青少年活動を通して感じられた私自身の一番の成長は、やはり「役割の変化」でした。これまでは米山奨学生、学友として、「見守られる立場」でした。しかしこの青少年活動の研修では、（私はもう青少年ではないので）、「見守る立場」になったのです。インターアクト研修の参加は学友にとって特別な活動であり、普段得られないものばかりでした。

ここで、台湾のことについてもう一度調べることを、知ること、そして、物事について、見つけなおす機会をたくさんもらうことができました。

最初は突然の通訳で何度か戸惑ったこともありましたが、今ほどの場面でも落ち着いて話をする事ができるようになりました。

人とふれあい、付き合うことによって、自分をもう一度見つけなおす機会となり、普段生活の中で意識していないところに新しい発見、刺激をもらうチャンスだと、大切にしています。

実は米山にかかわる活動では、子供を連れていく方が今までいなかったので、引き続き活動できるかどうかは本当に心配でした。しかし、みなさんのご理解とご協力で、すべての米山学友理事会、そして、インターアクト活動に関わる活動（はなちゃん）もメンバーの一員になって、参加をしています。これもあれもロータリーファミリーしかできない体験ばかりです。

最後になりますが、本日は卓話の機会をいただき、本当にありがとうございました。

クラブ会員の広場 『～私にとっての昭和、平成とは～』

第3回「ヒコーキ雲の思い出」

岩澤 利雄 会員

あれは、1944年の秋の快晴の日でした。空襲警報のサイレンの、けたたましく鳴る中、真っ青な空に白いチョークで書いたような1センチほどの飛行機が大空3分の1くらいの長い白い雲を引いて、ゆっくりと飛んでいきました。関東地方に初めて姿を見せたB29戦略爆撃機の偵察飛行だったのです。

今ではジェット機が多くなり、飛行機雲は珍しくありませんが、当時日本には高高度を飛ぶ飛行機は殆どなく、初めて見る美しい現象でした。

その後、戦況の悪化によりB29には散々な目に遭わされることになるのですが、それはまた別の機会におきまして、初見のガラスで出来たような綺麗なB29と飛行機雲には驚きました。

◆表紙の写真◆

すずめ・・・身近な鳥ですが、数が減少しています。家の構造が変化し、営巣できなくなっているのも一因です。

【撮影者 茂木 俊昭 撮影地 大倉山】

次回〈11月2日〉の予定

「職業奉仕と事業継承について」
地区職業奉仕委員会 副委員長 益田 裕隆 様
（紹介者 職業奉仕委員長 加野 亮一 会員）